

# 研究機関等のネットワーク化

農林水産技術会議事務局研究推進課

# 農林漁業の現場課題への対応強化（研究機関等のネットワーク化）

- ① 農林漁業者が相談しやすい技術相談窓口を設置し、常時現場ニーズを把握し、
- ② 把握した現場課題に即応し、現場実装が可能な技術を速やかに開発する、拠点機関を核とした民間企業・研究機関・大学等のネットワーク化を推進。

## <参画者のメリット>

### 1 現場ニーズの適切な把握



現場で使い  
やすい技術

### 2 成果の確実な実用化



現場との連携  
により事業化に  
成功！

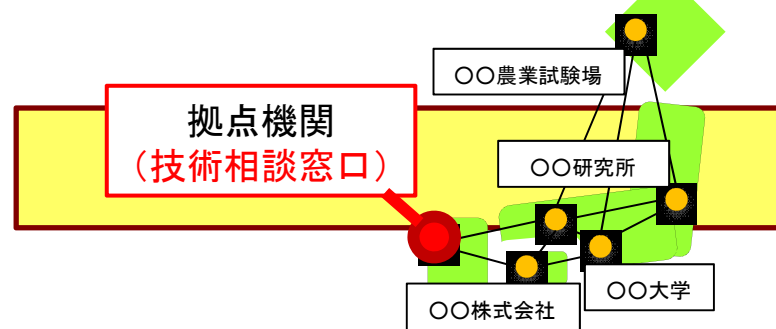
### 3 生産現場で即実践 可能な技術開発



最新技術が即活用  
でき、収益倍増！

## 研究ネットワークの機能のイメージ

### ① 現場の技術課題の把握



### ② 技術課題の 解決策を検討



解決策確立に向けた  
ネットワーク内協議

役割分担による  
効果的・効率的  
な研究

### ⑤ 研究者自ら が生産者に 技術指導



### ④ 現場に合った 事業化・商品化



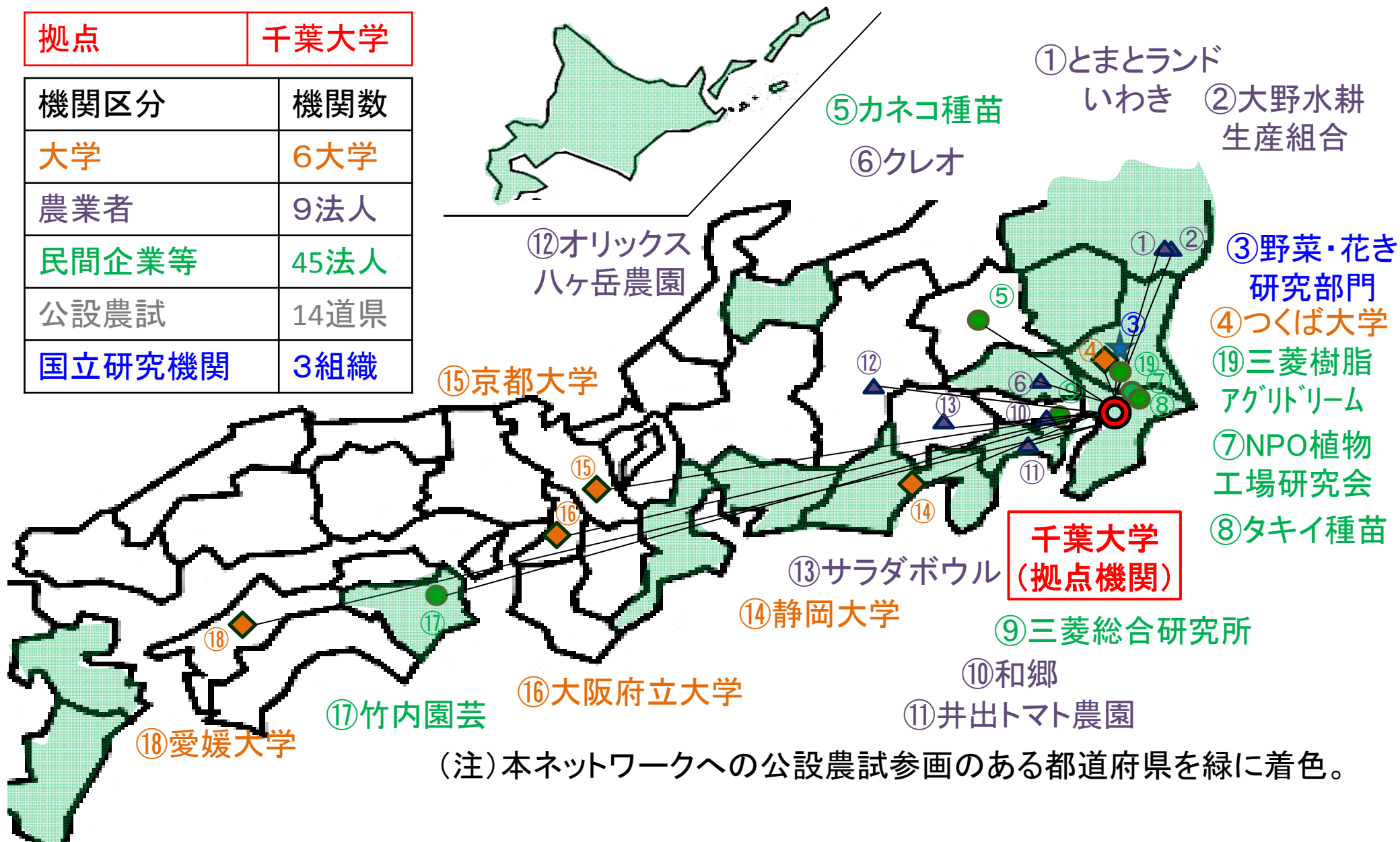
### ③ 生産者のほ場で の実証試験



# 研究機関等のネットワーク化の例

## <具体的な研究ネットワーク形成の例：日本型施設園芸>

拠点	千葉大学
機関区分	機関数
大学	6大学
農業者	9法人
民間企業等	45法人
公設農試	14道県
国立研究機関	3組織



# 現在までに形成された研究ネットワーク一覧

現在までに形成された研究ネットワークは以下の通り。

(農林水産技術会議HP: <http://www.affrc.maff.go.jp/kakushin/jigyokoubo.htm>においても公表中)

ネットワーク名称(一部略)	拠点機関	事務局代表及び連絡先	取組内容
水田作			
寒地・寒冷地水田	東北農研	白川企画部長 019-643-3407 <a href="mailto:www-tohoku@naro.affrc.go.jp">www-tohoku@naro.affrc.go.jp</a>	水稲等の水田農業の低コスト化、高収益化
暖地・温暖地水田	中央農研	寺内産学連携室長 029-838-8509 <a href="mailto:carc-sangaku@naro.affrc.go.jp">carc-sangaku@naro.affrc.go.jp</a>	ICT活用での栽培管理省力化、野菜作の機械化等
畑作・地域作物			
九州茶業	果樹茶業研	根角 枕崎研究調整官 0993-76-2126 <a href="mailto:nesuco@affrc.go.jp">nesuco@affrc.go.jp</a>	茶における生産者収益増加及び労働力削減
グルタチオン農業	岡山県農林水産総合センター	小川研究部門長 0866-56-9450 <a href="mailto:ogawa_k@bc4.so-net.ne.jp">ogawa_k@bc4.so-net.ne.jp</a>	グルタチオン農業実現に向けた技術開発
トウガラシ	鹿児島大学	坂上教授 099-285-8543 <a href="mailto:sakagami@agri.kagoshima-u.ac.jp">sakagami@agri.kagoshima-u.ac.jp</a>	高品質トウガラシ生産体系、機能性付加価値商品開発
寒地大規模畑作	北海道大学	野口教授 011-706-3847 <a href="mailto:noguchi@cen.agr.hokudai.ac.jp">noguchi@cen.agr.hokudai.ac.jp</a>	北海道の畑作農業(てん菜、ばれいしょ、小麦)の省力栽培による低コスト化、高収益化
ICT・AIを活用した次世代のブドウ産業活性化	信州大学	山沖学部長 0263-37-2310 <a href="mailto:k_query@shinshu-u.ac.jp">k_query@shinshu-u.ac.jp</a>	生食用、ワイン用ブドウ生産農家の収益増加

# 現在までに形成された研究ネットワーク一覧

ネットワーク名称(一部略)	拠点機関	事務局代表及び連絡先	取組内容
<b>野菜・花き・園芸</b>			
日本型施設園芸	千葉大学	丸尾教授 047-308-8805 <a href="mailto:maruo@faculty.chiba-u.jp">maruo@faculty.chiba-u.jp</a>	施設園芸における栽培から流通に至るITシステム総合開発
低コスト施設園芸	岡山大学	安場准教授 086-251-8304 <a href="mailto:ysbken@okayama-u.ac.jp">ysbken@okayama-u.ac.jp</a>	低コスト環境制御機器の導入による施設園芸の収量増
野菜生産情報利用	野菜花き研	岡田研究領域長 029-838-8528 <a href="mailto:Okada_Kunihiko@affrc.go.jp">Okada_Kunihiko@affrc.go.jp</a>	全国の露地野菜における情報利用による生産管理高度化
国産花きシェア拡大輸出	野菜花き研	中山研究領域長 029-838-6811 <a href="mailto:nakayosi@affrc.go.jp">nakayosi@affrc.go.jp</a>	国産花き類のシェア拡大と輸出展開のための技術開発及び普及
<b>畜産・酪農</b>			
褐毛和種生産振興	高知大学	松川准教授 088-864-5207 <a href="mailto:matukawa@kochi-u.ac.jp">matukawa@kochi-u.ac.jp</a>	褐毛和種の生産力強化、販売拡大
北海道酪農・畜産	北海道農研	大下研究領域長 011-857-9257 <a href="https://pursue.dc.affrc.go.jp/form/fm/naro001/harc_sangaku">https://pursue.dc.affrc.go.jp/form/fm/naro001/harc_sangaku</a>	北海道内における家畜経営の収益性2割向上
国産飼料生産利用	畜産研	鈴木研究領域長 0287-37-7224 <a href="mailto:szkazu@affrc.go.jp">szkazu@affrc.go.jp</a>	国産濃厚飼料等の自給飼料の活用
ICT等を活用した次世代型畜産経営	東京理科大学	兵庫教授 04-7122-9536 <a href="mailto:hyogo@ee.noda.tus.ac.jp">hyogo@ee.noda.tus.ac.jp</a>	全国の公共育成牧場におけるAI・ICT化

# 現在までに形成された研究ネットワーク一覧

ネットワーク名称(一部略)	拠点機関	事務局代表及び連絡先	取組内容
畜産・酪農(続き)			
南九州における畜産業の生産性向上	鹿児島大学	窪田教授 099-285-8736 <a href="mailto:k7980336@kadai.jp">k7980336@kadai.jp</a>	西南暖地、離島における肉用牛・生乳生産性向上、疾病低減・繁殖性改善
果樹			
カンキツ	果樹茶業研	森口研究領域長 054-369-7101 <a href="mailto:takaya@affrc.go.jp">takaya@affrc.go.jp</a>	カンキツの収益向上、周年供給等
水産			
水産オープンイノベーション	日東製網(株)	山本代表取締役専務 084-953-1234 <a href="mailto:yamamoto-setsuo@nittoseimo.co.jp">yamamoto-setsuo@nittoseimo.co.jp</a>	未来指向型の種苗、飼料、陸上・海面養殖の社会実装
その他			
地方都市近郊光・AI・ICT	三重大学	亀岡教授 059-231-9248 <a href="mailto:kameoka@mie-u.ac.jp">kameoka@mie-u.ac.jp</a>	6次産業化のための光センシング・AI・ICT戦略構築
先端技術活用新品種・新栽培法	岡山大学	武田上級リサーチ・アドミニストレーター 086-251-8930 <a href="mailto:ytakeda-1@okayama-u.ac.jp">ytakeda-1@okayama-u.ac.jp</a>	交配結果予測モデル等の先端技術を用いた基盤システム構築
新たな画期的機能性食品の創出	(有)碧山園	安間代表取締役 046-210-0031 <a href="mailto:hekizan@forest.ocn.ne.jp">hekizan@forest.ocn.ne.jp</a>	トチュウをはじめとした高機能性の農産物栽培法及び加工技術の高度化と機能性食品の創出
中山間営農システム	西日本農研	亀井領域長 084-923-5231 <a href="mailto:w-renkei@ml.affrc.go.jp">w-renkei@ml.affrc.go.jp</a>	近畿中国四国地域等の中山間地域の新たな営農システムの構築